京町・木の家 2019　共通ルール

【長寿命型】【高度省エネ型】 共通　必須項目リスト

① **パッシブデザイン**（下記、いずれか一つ以上）
（集熱・熱移動・蓄熱・通風・採涼・排熱・日射遮蔽・断熱気密）

② **1 戸につき 1 ヶ所以上の格子の設置・和紙の活用**
（京都の地域・気候に応じた建て方・様式）

③ **HEMS もしくは HEMS 併用分電盤の設置**

④ **住宅履歴システムの利用**
（提携先として JBN「いえもり・かるて」を推奨）

⑤ **省エネ技術講習会（設計もしくは施工）の受講**

⑥ **バリアフリー機能かユニバーサルデザイン**（下記、いずれか一つ以上）
（つかみやすい手すりやドアノブ、操作しやすいスイッチ・リモコン、深夜も安全に歩行できる夜間照明等）

⑦ **一般社団法人 JBN が編集した「木造住宅工事管理の実務」に沿った施工**

⑧ **住まい手に対し「JBN 住まいの管理手帳」を使い住宅のお手入れの仕方を説明**

⑨ **柱、梁、桁、土台において国内・国外合法木材 or 京都府産木材 or びわ湖材を 50%以上利用**

⑩ **「和の住まいのすすめ」を住まい手に渡す**

【高度省エネ型】～ゼロ・エネルギー住宅～

■ゼロエネ住宅（5地域、6地域）

エネルギー削減率

5地域・・・全体（R）104%以上　、太陽光を除く（R0）30%以上

6地域・・・全体（R）104%以上　、太陽光を除く（R0）30%以上

※平成28年省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法による

★BELSによる認定を必須とする

★UA値0．55以下を必須とする

★ランクアップ外皮（5地域：0．4以下、6地域：0．5以下）を推奨する。